

まちなか倶楽部

(西出町歴史資料館)を建設します

1 「まちなか倶楽部」とは、

まちなか倶楽部とは、兵庫区の西出町自治協議会が主体となって建設する“まちづくりの拠点施設”です。小さな施設ですが、まちの歴史的に貴重な財産を展示、公開したり、まちづくりの交流の場として開放する事を目的としています。

建設の過程においては、自治協議会、ボランティア、専門家、神戸市が協同で参画していきます。

2 建設手法について

建設にあたっては、セルフビルド方式を取り入れています。これは、建築工事を全て建設会社にまかせるのではなく、できるだけ、地域の皆さんが中心となって（神戸芸術工科大学の学

生さんからのご協力もいただけそうです）手作りで建設をしようというものです。

例えば、基礎の掘削にあたっては、機械で掘らずに、みんなで協力してスコップで掘ろうと思っています。

そうする事によって、建設時から地域交流を図ることができ、また、完成後にはその建物に対し、よりいっそう愛着をもっていただける事になるでしょう。

3 建築材料について

壁、床、天井材には、去年、淡路で行われた花の博覧会パビリオンの部材を利用し、また、外構の仕上げ材には、旧市電の敷石を使う等建築材料の再利用を心掛けています。

この地域は、江戸時代から発展してきた町であり、高田屋嘉兵衛が活躍した事でも知られています。建物のデザインにおいてもその歴史性を考慮して、屋根は瓦葺き、外壁を漆喰塗りとした和風としています。

完成イメージ



建設場所、西出町 1 丁目 9 番（湊町線沿い）

このように、部材の再利用を図ったり、日本の自然素材を使う等、エコロジー建築に配慮しています。

4 最後に

現在、神戸市では、

復興記念事業の一環として、すまい・まちづくりフェア（4月～9月）を開催しています。“まちなか倶楽部”は、このフェアの取組の一つとして位置づけられています。

地域の方々が中心となって作り上げる施設であり、未来への財産となることを期待しています。

5月には着工し、9月に完成を目指しています。御興味のある方は是非、見に来てください。

『安全で安心なコミュニティ活動の知恵 100』がもうすぐ完成しま

昨年の「あーばんとーく」6月号で、地域活動のアイデアや工夫を募集しましたところ、地域のまちづくり活動に取り組まれているみなさんから知恵をお寄せいただきました。本当にありがとうございました。おかげさまで、この冊子は、みなさんのさまざまな知恵が盛り込まれた、内容の濃いものになりました。

地域のみなさんが安心して暮らせる安全なまちづくりを進めるために、この冊子がヒントを与えてくれることを期待しています。

5月現在、印刷・製本の段階に入っていますので、6月になればお渡しできると思います。ご希望される方は下記問い合わせ先までご連絡ください。



(お問合せ先)

神戸市役所 市民局

市民安全推進室 安全企画課

〒650-8570

神戸市中央区加納町6-5-1

TEL.078(322)6238

FAX.078(322)6031

～皆さんで学習してみませんか～

「くらしのいきいきトーク」をご利用ください

悪質商法による被害を未然に防ぐため、また、くらしに役立つ身近な事柄について学習していただくため、専門の講師がお住まいの地域などに出向いて、講座形式やトーク形式により「くらしのいきいきトーク」を実施しています。

講座内容等は次のとおりです。皆様方がお集まりの機会に、お気軽にご利用ください。

- | | |
|--------|--|
| 1 講座内容 | ・Aコース 衣類と上手なおつきあい
・Bコース 上手な商品選び(家電製品)
・Cコース 高齢者商品を考える
・Dコース 表示とマークについて
・Eコース 知ってるようで知らない話(くらしに役立つ話題)
・Fコース 悪質商法の最近の手口や被害事例 など |
| 2 講座時間 | 約1時間(30分~90分でご希望の時間に合わせます)
【月~金曜日(祝日は除く) 午前9時~午後4時の間でお願ひします】 |
| 3 講師 | 神戸市消費者協会より派遣 |
| 4 対象人員 | 概ね15人以上 |
| 5 その他 | 講師謝礼等は一切不要です。
会場(場所)の確保等をお願いします。 |

お申込み・問い合わせは

神戸市市民局生活文化部消費生活課調査係

〒650-8590 神戸市中央区加納町6-5-1 TEL322-5185 FAX322-6036

時間、日程等の調整もありますので、受講希望日の前月の15日までにご連絡をお願いします。

□ ホームページ 『KOB E消費生活情報』

くらしに役立つ消費生活情報を掲載しています。ぜひ、ご活用ください。

<http://www.city.kobe.jp/cityoffice/15/080/index.html>

イギリスの居住地改善とまちづくり 2

今回は、マンチェスター市で試みられている公民のパートナーシップについてふれてみたい。

■ マンチェスター市、マクローリン部長

神戸で開催された日英両国の NPO メンバーによる交流会で、マクローリン部長は担当している地域再生事業の説明を終えた。廊下で一心にスライドの整理を続けている彼女のかたわらに行き、私は言った。「来年2月、マンチェスターに行くので、あなたのプロジェクトを案内してください。」、彼女は「もちろん、いいですよ。」と快く応じてくれた。

イングランド北部の冬は、冷たい霧雨といった天候がだらだら続いている。彼女はマンチェスター市に勤務しており、現在は「モスサイド・ヒューム パートナーシップ (Moss Side & Hulme Partnership)」というプロジェクトに出向している。この組織は、特定の地域整備を目的とした公民による第3セクター的なものである。歴史のある市庁舎を案内していただいた後、彼女の車で、産業革命記念館の脇を抜けヒューム地区に向かった。

■ ヒューム地区での取り組み

9階の彼女の部屋からは、地区全体が見渡せる。彼女は総務、地域コミュニティなどを担当している。隣室の計画担当部長の説明を受けた後、再び彼女の車で、「パートナー」の待つ「健康センター」へと向かった。

ヒューム地区は旧市街地に隣接して立地し、現在約2万人が居住するが、過去のピーク時には約8万人が住んでいた。1960年代に市街地で実施された住宅地区改良事業の受け皿としてのニュータウンとして開発され、高層・中層の市営住宅が建設されたが、その後居住地の衰退が進んだ。

1992年からこの再生プロジェクトがスタートした。その5年前から地区の調査を開始していたが、当初、住民は何が進められているのか部長が説明しても全く理解できなかった。住宅協会による公営住宅の建替えや住宅改善が進められ、一部の土地を民間に処分することで、全体事業費に当てている。低層住宅地では、塀を取り除いて見通しを良くするなど環境改善を行う。住民集会で「通り(Street)を復活したい。」と声が上がったそうだ。「スーパーロット(1街区全体をひとつの敷地とする計画手法)」や「クルドサク(通過交通を排除する地区内道路の計画手法)」はこの地区では好まれなかったという。どちらも我が国で

広く使われる手法だけに、コミュニティの意見をいれた試行錯誤を、今でも繰り返していることに驚かされた。

■ 居住地改善(まちづくり)のパートナー

健康センターは3年前に建設された。地域住民の健康や育児などのカウンセリングを目的としているが、保育、職業訓練、様々なミーティングなどにも使われる。このセンターは親しまれているので住民も集まりやすく、NPO、ボランティアなど多くのスタッフが働いている。ケースワーカーも勤務しており、アジア系女性のためのアウトリーチ(支援)といった試みもされている。

コミュニティの小さなビジネスの場として、使われなくなった教会が活用されている。教会内を複数の区画にわけ、地域住民がおこなうミニコミ誌の発行、保安警備など小さなビジネスの事務所に転用している。スタッフの若いリーダーは、大学の経済学部を卒業してすぐにこの仕事についたとのことである。

昼食後、コミュニティ・ランドスケープアーキテクトのテイラー氏に「作品」を案内していただいた。彼は住民や子供の考えをていねいに引き出しながら、居住地や公園などのデザインを行う。海と港をイメージした市営住宅地の公園の再整備、ピオトープのある小学校の校庭など、住宅地に個性が生まれ、愛着のもてる作品だ。最後に彼の事務所を訪れた。ここ神戸でもワークショップによるまちづくりが進められており、コンサルタントの親しみやすい独特の雰囲気は両国共通だと感じた。



部長(左から2人目)とパートナーたち

「まちづくり」を英訳するとき、どう訳したらよいか議論になるが、マクローリン部長は、「MACHIZUKURI が日本で、住民参画で試みられている。」と話していた。「まちづくり」は今や全国的に認知されている言葉だが、「カラオケ」と同様に国際共用語になるよう世界に発信できたら素晴らしいと思う。

矢島 利久(住宅局住民間住宅課民間住宅係長)

まちセン ライブラリーニュース

こうべまちづくりセンター図書室
 まちづくり会館 4階・Tel 361-4523
 開館時間 午前10時～午後6時
 休館日 水曜日・年末年始

図書名称	著者・編者	発行元	発行年月
東京アンダーワールド	ロバート・ホワイティング	角川書店	2000年6月
地域福祉とまちづくり	上田 耕蔵	学芸出版社	2000年8月
コレクティブハウジング ただいま奮闘中	石東直子・コレクティブ応援団	学芸出版社	2000年8月
女性のまちおこし・まちづくり	上野 勝代 他	学芸出版社	2000年4月
街が動いたーベンチャー市民への闘いー	脇本 裕一	学芸出版社	2000年7月
郊外の20世紀	角野 幸博	学芸出版社	2000年3月
神戸都市地図 明治前期・昭和前期	清水 靖夫 編	柏書房	1995年4月
都市の破壊と再生	福井 憲彦・陣内 秀信	相模書房	2000年6月
フランク・ロイド・ライト作品集	岸田 省吾	(株)丸善	2000年3月
森鷗外の都市論とその時代	石田 頼房	日本経済評論社	1999年6月

当センターにふさわしい図書、資料をご紹介ください。担当：橋本まで。

まちづくり会館からのお知らせ

こうべまちづくり会館 地階ギャラリーの予定

期 間	内 容・テ ー マ	主 催 者
5月10日(木)～15日(火)	第7回 木彩会陽画作品展(油彩)	木彩会
5月17日(木)～22日(火)	木曜会絵画作品展(油彩)	木曜会
5月24日(木)～29日(火)	安部はるみ尾と art 楽しいなかま展(洋画)	安部 はるみ
5月31日(木)～6月5日(火)	第12回 KP展(パステル画)	黒住 節子

こうべまちづくり会館 1階オープンギャラリーの展示

5月3日(木)～31日(木)	地下鉄海岸線とまちづくりパネル展	神戸市交通局
----------------	------------------	--------

図書販売のお知らせ

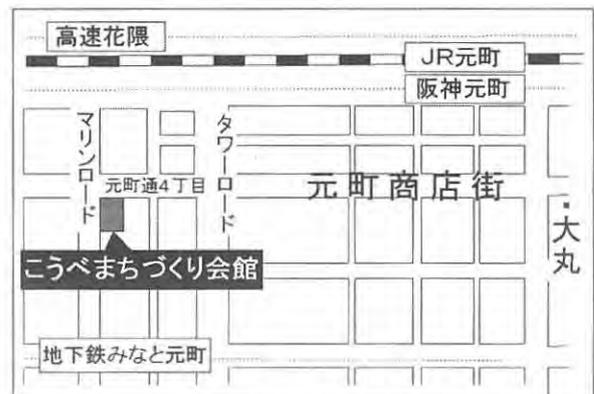
協働のまちづくり・すまいづくり ー震災復興土地区画整理における共同建替の記録ー	¥1,500	別途送料を申し受けます。 申し込みは、当センターまで
--	--------	-------------------------------

すまい・まちづくりのご相談は

- すまい・まちづくり人材センター
 (こうべまちづくり会館 3F)
 電話 078-361-4377 FAX 078-361-4584
 受付は、月・火・木・金曜の午前10時～午後5時
- 土・日・祝日は
 まちづくり相談コーナー で受け付けます
 (こうべまちづくり会館 4F)
 時間は、午前10時～午後5時

自治会活動などのご相談は

- コミュニティ相談センター(まちづくり会館 4F)
 会報等の印刷サービスや学習会へのインストラクター派遣など
 受付:午前10時～午後6時(水曜・年末年始は休館)
 電話 078-361-4565



最寄駅
 地下鉄海岸線みなと元町駅西口から1分
 (平成13年7月7日開業予定)
 高速花隈駅東口から3分
 高速西元町駅東口から5分
 JR・阪神元町駅西口から8分